

保健医療学部アドミッションポリシー (入学者受入方針)

昭和大学保健医療学部は、「至誠一貫」の建学の精神のもと、「医系総合大学の特徴を活かし、真心と情熱を持って保健医療の発展と国民の健康増進、福祉の向上に寄与する優れた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士の育成」を教育目標としています。そこで保健医療学部のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を達成できる学生として日々の学習と多様な経験の中から以下の能力を入学時まで身に付けている人を求めます。

《看護学科・理学療法学科・作業療法学科共通》

1. 科学的思考の基本となる理科系科目の基礎学力を有する人
2. 医療を通じた国際貢献に関心を持ち、英語の基礎学力を有する人
3. 人間と関わることに強い関心を持ち、豊かな人間性と倫理観を有する人
4. 基本的なコミュニケーション能力を有する人
5. 1年次の全寮制共同生活・学習に積極的に取り組める人

《看護学科》

6. 論理的思考をもって看護学を探究しようとする人
7. 自分の感情・思考・行動を省みることができる人
8. 人の痛みを感じ取ることができる人

《理学療法学科》

6. 理学療法を学ぶ目的が明確で、情熱のある人
7. 身体の構造や機能に関心がある人
8. 身体障がい、スポーツ、アート等における身体運動に関心がある人

《作業療法学科》

6. 作業療法学を通して、人への援助に貢献したい人
7. 個人の生活に関心がある人
8. 個人の幸せ、価値観に関心がある人

上記の人を選抜するために次のような入学試験を実施します。

【推薦入試】

1. 基礎学力試験：

英語、数学、理科(物理基礎、化学基礎、生物基礎から1科目)の基本的な学力を有するか評価します。150点満点とし、科目ごとではなく総合点で評価します。

2. 小論文試験：

科学的思考力、人間性と倫理観、課題に対する理解力、自身の考えを明確な文章で表現する能力等を評価し、50点満点で点数化します。

3. 面接試験：

高い学習意欲、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度と倫理観、基本的なコミュニケーション能力、個性や才能等を評価し、50点満点で点数化します。

4. 提出書類：

調査書、願書等の提出書類の内容を評価し、25点満点で点数化します。

基礎学力試験が一定の基準を満たした受験者において、基礎学力試験、小論文試験、面接試験、提出書類審査の点数を合計して275点満点で順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

【一般選抜入試(Ⅰ・Ⅱ期)】

1. 学力試験：

看護学科・作業療法学科は英語及び理科(物理、化学、生物から1科目)を必須とし、国語、数学の2教科から1教科選択し

た3教科について、理学療法学科は英語、数学、理科(物理、化学、生物から1科目)について基本的学力を十分に有するかを判定します。300点満点とし、科目ごとではなく総合点で評価します。

2. 面接試験:

高い学習意欲、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度と倫理観、基本的なコミュニケーション能力、個性や才能等を評価し、40点満点で点数化します。

3. 提出書類:

調査書、願書等の提出書類の内容を考慮し、60点満点で点数化します。

学力試験が一定の基準を満たす受験者において、学力試験、面接試験、提出書類審査の点数を合計して400点満点で順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。高順位であっても面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

【大学入試センター試験利用入試(A方式:センター利用)】

1. 学力試験:

大学入試センター試験の結果をもとに、英語は必須とし、数学、理科(物理、化学、生物から1科目あるいは物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目)、国語の3教科から2教科選択とし基本的学力を十分に有するかを評価します。300点満点とし、科目ごとではなく総合点で評価します。

2. 面接試験:

高い学習意欲、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度と倫理観、基本的なコミュニケーション能力、個性や才能等を評価し、40点満点で点数化します。

3. 提出書類:

調査書、願書等の提出書類の内容を考慮し、60点満点で点数化します。

学力試験が一定の基準を満たした受験者において、学力試験、面接試験、提出書類審査の点数を合計して400点満点で順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。高順位であっても面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

【大学入試センター試験利用入試(B方式:地域別選抜)】

一次試験は学力試験により行います。

1. 学力試験:

大学入試センター試験の結果をもとに、英語は必須とし、数学、理科(物理、化学、生物から1科目あるいは物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目)、国語の3教科から2教科選択とし基本的学力を十分に有するかを評価し、各地域で最低点を決め一次合格とします。300点満点とし、科目ごとではなく総合点で評価・判定します。

二次試験は一次試験合格者を対象に小論文試験と面接試験を行います。

2. 小論文試験:

科学的思考力、人間性と倫理観、課題に対する理解力、自身の考えを明確な文章で表現する能力等を評価し、50点満点で点数化します。

3. 面接試験:

高い学習意欲、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度と倫理観、基本的なコミュニケーション能力、個性や才能等を評価し、50点満点で点数化します。

4. 提出書類:

調査書及び願書から推測される日常活動を考慮し50点満点で点数化します。

一次試験、小論文試験、面接試験、提出書類審査の点数を合計して450点満点で順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。なお合格者を決定すると同時に補欠合格候補者も決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

【編入学試験】(看護学科のみ)

看護系短期大学の卒業者(卒業見込みを含む)または看護専修学校の専門課程(3年課程)を修了した者(修了見込みを含む)に学士に必要な教養と保健師課程(学内選抜あり)を含む看護における専門能力を高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施します。

1. 小論文試験により、文章表現力、構成力等を評価し、100点満点で点数化します。

2. 面接試験により、看護学に対する高い学習意欲と本学に対する明確な志望動機のほか、協調性やコミュニケーション能力等を評価し、100点満点で点数化します。

3. 成績証明書や願書等の提出書類の内容を考慮し、評価します。

小論文試験、面接試験の点数を合計して200点満点で順位化し、さらに提出書類の内容を考慮したうえで総合的に判定し、合格者を決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。